

森下ゆたか

MORISHITA YUTAKA

橿原市長(2期目)

- ◆ 昭和33年4月吉野郡大淀町生まれ
- ◆ 智辯学園高等学校、兵庫医科大学を卒業
- ◆ 橿原市見瀬町に森下内科医院を開業(平成4年)
往診等で在宅介護の現状を目の当たりにし、
医療法人豊生会・社会福祉法人豊生会を創設。
医療の視点を取り入れた新しくてやさしい介護を追求。
- ◆ 奈良県議会議員を3期10年務める
志半ばで病に倒れた奈良県議会議員だった父の
「地域の未来を託したい」という思いを受け、出馬を決意。
- ◆ 平成19年橿原市長選挙に出馬し当選
過疎化が進む中南和地域の発展には玄関口・橿原市の
再生はまったなし!!国や県、市町村や各機関との連携
のもと、元気なまちづくりに邁進。



人・モノ・歴史の交流でにぎわう
元気なまち“橿原”をデザイン中



荒井知事と



植村高取町長・
森川明日香村長と



県立医大細井学長と

森下ゆたかネットワーク



ウェブサイト▶<http://www.morishita-y.net>

Tel.0744-28-7737 Fax.0744-28-7757

E-mail▶mori-mori@car.ocn.ne.jp



まっすぐに!今までも、これからも。
「創造力」と「実行力」でもっと前へ!! もっと元気に!!



森下ゆたか

MORISHITAYUTAKA

すべては次世代のために。

必要なまちづくりを!!

これからの私たちに

大胆かつきめ細やかな実行力。

広い視野と



健康

医師目線のまちづくりで
もっと健康に

安全

誰もが安心して暮らせる
まちづくり

文化

地域文化や自然を守り
活かすまちづくり

“経営者” 感覚の市政運営

事業家の経験を行政に活かし、檀原市を活性化!!



住民サービス向上のために
さまざまな取り組みを!!



検査・診断

森下市政の下地

市政を総点検!
健全な行財政運営で
住民サービスの向上



- ▶ 地方債の削減! 約140億円
- ▶ 方針がくまなく行き届き
横の連携がとりやすい組織へ
- ▶ 市長を含む人件費のカットや職員数の適正化
- ▶ 優先順位の整理や創意工夫で歳出を抑えつつも
最大限の効果を発揮できる事業運営へ

近隣市町村との信頼関係の構築

これからの時代は、まちが垣根を超えて
連携し、その上で競争し合うことで地域
全体の発展につなげるという視点が必要
であると考え、積極的にコミュニケー
ションを図り、信頼関係を築く。





治療

森下市政 本格化

わかりやすい情報発信で 市民に身近な行政を

- ▶『広報かしはら』や市のホームページの刷新



- ▶市の広告塔として、市長自ら発信
→ラジオやテレビ出演を通じて市の取り組みを発信。
→『かしはらシティフォーラム』の開催。

子育て・子ども・高齢者を 全力でサポート



- ▶子育てしやすい環境
◇幼稚園と保育所の長所を活かした「こども園」の開設。
◇学童保育の充実。
公立・私立が県下の連携で、幼稚園、保育園、学童保育の質の向上を図る。

- ▶子ども達がいきいきと輝ける環境
◇カウンセラーの増員、いじめ対策として教員OBや警察OBの任用、学校現場のみならず各機関との連携強化で子ども達がためらわず大人を頼れる仕組みを整える。

- ▶住み慣れた地で安心して暮らせる環境
◇医療、介護施設の充実。
医療と介護のより良い連携構築は現在進行中。



連携強化でまちづくりの基礎固め。

守られる、 より多くの命



- ▶救急医療体制の充実
市外の病院とも連携した救急医療体制の確立で受け入れ強化。
- ▶『奈良県広域消防組合』の設立
ほぼ全県の消防機能がひとつに。
◇ドクターヘリやハイパーレスキュー隊などを持つことができる強い消防体制が実現。迅速かつ高度なサービス提供が可能となり、全国から注目が集まる。(森下豊市長は組合管理者)

人も、まちも、社会も元気に！

- ▶みんなで守る! 貴重な歴史文化遺産
「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の世界遺産登録へ向けたさらなる取り組み。
- ▶国が全面的後押し!『飛鳥シティ・リージョン』構想
飛鳥地方と奈良県立医科大学が持つ観光・交通・医療・介護等の機能をつなげ活用する構想が国の地域活性化モデルケースに選定され、これまでにないまちづくりが始まる。
- ▶奈良県立医科大学と『包括的な連携協力に関する協定』の締結
県立医科大学と、まちづくりや健康づくりなどの分野でさらなる連携。
- ▶県と『まちづくりに関する包括協定』の締結
市が掲げるまちづくりを財政面等で県がバックアップ。





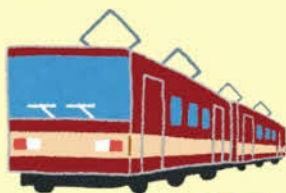
回復

森下市政の結果とこれから

人・モノ・歴史の交流で、 もつとにぎわい誇れる “元気なまち 橿原”に

▶ 大和八木駅周辺をにぎやかに

近代的な都市機能と伝統的な歴史的景観が共存する
県中南和の玄関口にふさわしい、
人が集まる魅力的な空間づくり。



平成30年4月
八木駅前に
オープン!!

▶ 市民に便利で安全な市庁舎へ

- ・分散する届け出や手続き等の行政サービスがひとつの窓口。
- ・災害時に機能を果たせるよう、耐震問題を抱える本庁舎を整備。

▶ 奈良県立医科大学周辺整備

県立医科大学教育部門の移転に伴う新駅設置を見据え、
キャンパス周辺を整備。
空き家となった町家を再生し、
医大との連携で高齢者の
見守りサービスや在宅医療、
健康講座への活用も。



▶ 地域公共交通の再編

買い物や医療機関、福祉施設への
アクセスを容易に。
バスの他市町村への乗り入れ等で
市民や観光客にやさしくて
便利な交通整備。



環境は整った!

さらなる進化!!

そして新たなステージへ

“森下ゆたか”と共に

「ゲートウェイシティ」橿原市へ

空港からのアクセス、
進む道路整備で人の流れが
激しくなりつつある橿原市は
いま大きな役割を担っています。
中南和だけではなく
奈良県の玄関口として、
この地域をもっと元気にしたい!
その環境がようやく整いました。
蒔いた種が芽を出し、
橿原市は確実に前進しています。
次世代のためにも
この流れを加速させ、
もっと前へと進めたいと
強く思っています。

